

平和とよりよき生活のために

広島の せいきょう

第27号 2009年9月30日
広島県生活協同組合連合会発行

〒730-0802

広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル

TEL 082-532-1300

FAX 082-232-8100

URL: <http://kenren.jccu.coop/hiroshima/>

2009年度 県連通常総会開催

6月24日(水)鯉城会館にて、2009年度広島県生協連通常総会を開催し、議案すべて承認いただきました。

2008年度は、勤労者を取りまく環境変化や景気後退の影響を受け、生協にとって厳しい1年になりました。購買生協では中国製ギョーザ中毒事故や一連の食品偽装事件により、医療生協は、医療費の負担増による診療抑制や診療報酬の引き下げなどにより引き続き厳しく、共済生協や住宅生協も大きく影響を受けました。そのような中でも、大幅に経営改善が実現した購買生協や転倒予防体操など支部活動が活発になった医療生協もありました。また県連全体においては、核兵器廃絶や自然災害対策の取り組みなどが前進しました。

2009年度の最重点課題は、核兵器廃絶の取り組みです。来年開催されるNPT(核不拡散条約)再検討会議の成功に向け、県内生協が一丸となり取り組みを推進していきます。その他、食の安全・安心・安定に向け、食料・農業問題への対応、新型インフルエンザ対策を含む危機管理体制の強化、福祉分野での連帯、消費者被害・地球温暖化防止対策など安心してらせる地域社会づくりをめざし、邁進していきます。

今回役員選任も行い、下記の役員体制で2年間、県連の運営にあたります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

県連役職	名 前	所属生活協同組合	会員役職
会長理事	富 田 巖	生活協同組合ひろしま	特別顧問
副会長理事	田頭 俊彦	日立造船因島生活協同組合	顧 問
専務理事	岡村 信秀	常 勤	
常務理事	高井 章平	広島県労働者共済生活協同組合	専務理事
常務理事	土井 律紀	生活協同組合ひろしま	副理事長
常務理事	東久保浩喜	広島中央保健生活協同組合	専務理事
常務理事	難波 隆宏	広島県学校生活協同組合	専務理事
理 事	宇田川和代	広島医療生活協同組合	副理事長
理 事	神尾 容子	日立造船因島生活協同組合	理 事
理 事	斉藤 孝司	広島医療生活協同組合	専務理事
理 事	高田 公喜	生活協同組合ひろしま	常勤理事
理 事	高橋 幸博	広島県高等学校生活協同組合	専務理事
理 事	武田 孝治	竹原生活協同組合	理事長
理 事	田中 嘉市	広島修道大学生生活協同組合	専務理事
理 事	橋野 俊子	生活協同組合ひろしま	理 事
理 事	堀井 信介	グリーンコープ生活協同組合ひろしま	常務理事
理 事	松 山 智	福山医療生活協同組合	専務理事
理 事	吉山 功一	広島大学消費生活協同組合	専務理事
監 事	榎 敬 公	広島県住宅生活協同組合	専務理事
監 事	大越 和郎	広島中央保健生活協同組合	副理事長
監 事	金 井 保	生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合	常務理事

<退任役員>

坂本裕常務理事(前 広島医療生協専務理事)、仁田祥男常務理事(前 広島県高校生協専務理事)、野村文孝理事(前 グリーンコープ生協ひろしま常務理事)、竹内佳代理事(生協ひろしま理事)

ご来賓

- 笹岡 秀人 様(広島県環境県民局総務管理部部長)
- 岸房 康行 様(JA広島中央会専務理事)
- 宮地 稔 様(広島県労働者福祉協議会会長)
- 是佐 恵美子 様(広島県消費者団体連絡協議会会長)
- 黒木 勉 様(日本生活協同組合連合会中四国地連)



挨拶する会長理事



採決風景



新任役員のみなさん

2009年度 第1回リーダー研修会

6月24日(水)、コープみやざきの亀田理事長を迎えて第1回リーダー研修会を開催し、61人が参加しました。

「コープみやざき」は過去10年間、経営剰余を3%前後と実績を出し続けてきたことを資料で説明され、各業態の捉え方、また「コープみやざき」のめざすことなど、基本的な考え方について次のように説明されました。

『共同購入については、小売業の4%のシェアしかなく、組合員から要望もなく、「高齢で買い物ができなくなったら、お願いします」と言われる状況で、子どもが小さいときや高齢になってからの利用、あるいはスーパーのない地域での利用であり、地域の福祉政策として継続することが重要である。店舗は中心となる業態と考えている。「コープみやざき」の基本的考え方は、「来る人が楽しみに来る、帰る人が喜んで帰る」ように組合員に寄り添う、特に言わなくても職員の身体にしみこむようになることをめざしている。これまでは組織を組織率で捉えていたが、「すごい組織」と表現を変え、組合員、職員、取引先が満足を得られる組織にしたいと考えてきた。供給を大きくしたいと考えたことはなく、世の中にない面白い組織をつくろうとした結果が組合員に指示される組織になってきた』こと、「理事会からの感謝状」や「はがき」、店舗の「手作りPOP」など、この間の実践で組織に着実に定着し、まさに社風となってきたとお話されました。最後に相手の立場に立つ、相手が喜ぶことをすることが大事であるとお話を結ばれました。



講師の亀田さん

初級職員研修会

4月8日(水)、広島県総合体育館にて、入協1～3年目の新人職員を対象に初級職員研修会を開催しました。今年は2購買生協、2医療生協の45名の参加がありました。

4つの講義、碑めぐり、グループ討議と、少々ハードなプログラムながら、どの参加者も終日熱心に受講していました。

最後に記入した「ふりかえり」用紙には、「生協の理念に感動した。組合員さんの思いや願いを聞いて受け入れ、役に立てる努力のできる職員になりたい」、「購買生協・医療生協、どの生協も、組合員主体の活動が実践され、地域に密着していることがわかって、嬉しい気持ちになった」など感想がいっぱい書かれていました。生協職員としてのスタートにあたり、異なる生協・職種の参加者同士刺激を受け合いながら、多くのことを学んだ様子が伝わってきます。

参加した職員のみなさんにとって、今回の研修が生協の良さを実感できる場になりました。



医療生協についての講義



お弁当づくりワークショップ



碑めぐり

新型インフルエンザ学習会

2009年7月8日(水)、講師に広島県健康福祉局保健医療部健康対策課感染症G主任主査 積山宝さんを迎えて、新型インフルエンザ学習会を開催しました。8会員生協及び県連で25名参加しました。

広島県の場合、今後も患者発生は続き、県民の10%がかかると見ているため、重症化対策が中心となり、発熱外来をとりやめ、入院措置も自宅療養と通常の医療機関で入院となることなど、厚生労働省の運用指針の見直しについて説明されました。

介護関係の職員から、リスクの高い高齢者が多く、また集団となる形態の事業でもあり、早急に対策をつくらないといけないという声が出されました。



2009年度 食の安全学習会

食の安全委員会は食にかかわるさまざまな視点で学習を重ねてきました。その内容は健康や食の安全など多岐にわたるもので各委員にとっては大きな蓄積となっています。

2009年度はJA広島中央会の黒木義昭 元専務を講師に迎え、農業問題・食の安全問題についてシリーズ化した学習会をしています。

※参加ご希望の方は県連にご連絡ください。

- 第1回** 《現状を学ぶⅠ》
いま「食」を問う!～食と農業の関係とは何か～
- 第2回** 《現状を学ぶⅡ》
地球は人々を養えるのか!～世界の食料生産と日本農業の実情～
- 第3回** (10月19日(月) 13:30～15:00 広島県生協連合会 会議室)
《現状を学ぶⅢ》
食糧の輸入拡大と食の安全!～食料輸入拡大の要因と食の安全とは何か～
- 第4回** (2月12日(金) 13:30～15:00 広島県生協連合会 会議室)
《まとめ・課題を探る》
地産地消と私たち…!～食と農業を守る世界の取り組みと私たちの運動～

2009年度 市民平和行進結団式&ピースフォーラム

2009年5月25日(月)に98名(5会員生協79、地連・県外生協8、他団体5、県連6)の参加を得て、市民平和行進結団式とピースフォーラムを開催しました。

結団式の市民6団体のメッセージでは、核兵器廃絶の運動の最前線におられる被団協のお二人が、北朝鮮が核実験を行ったことに対する抗議をされ、核兵器廃絶の運動の現場の実態が伝わる緊迫感あふれるものになりました。富田会長は市民6団体が市民平和行進を取り組んだ経緯について報告をし、1979年に市民団体が中心になって統一実行委員会が結成されたことをきっかけに現在まで続く組織で、市民を結集するために大きな役割を果たしてきたこと、今結集が弱いなか、あらためて市民を結集するために頑張ると決意を述べました。



被団協 吉岡さん



被団協 坪井さん



昨年の平和行進の報告
学校生協の佃さん



峠三吉の原爆詩「墓標」を
朗読する河合さん

会員生協からの報告では、生協ひろしまの折りづるナイターの取り組みによって広く市民にアピールでき、ボランティアが大活躍であったこと、また広島医療生協では職員教育として平和の活動が位置づけられ、その過程で職員の成長ぶりが報告され、会場の共感を呼びました。

ピースフォーラムのメインのリーパー理事長の講演では、NPT再検討会議準備委員会の様子やその背景となる世界の情勢について、とてもわかりやすくお話しされ、大きなエネルギーをいただきました。核兵器を廃絶するか、あるいは拡散させ破壊の道をたどるのか、今まさに緊迫した世界情勢を知り、いかに私たちが活動し市民に広げることが重要か認識できました。



「折りづるカープ」について報告する
生協ひろしま 谷保さん



職員の活動について報告する
広島医療生協 権藤さん



講演する(財)広島平和文化センター、
リーパー理事長



生協ひろしま
虹のコーラスのみなさん

2020 ネットワーク街頭署名行動

平和市長会議の2020ビジョンに賛同した高校生(広島女学院高校を中心とする署名実行委員会、広島平和ゼミナール)と生協の組合員、役職員で2020ネットワークを結成し、毎月20日に街頭署名行動をしています。7月は大雨警報が出て中止になりましたが、6月から9月まで3回実施し、合計で961筆の署名を集めることができました。本通り交差点商店街入口や原爆ドーム前で訴えました。初めての署名行動でなかなか声かけられない人もいますが、高校生のみなさんの元気な呼びかけに応じて若い人たちや家族連れが署名に応じていました。県外から来られた人の反応はいいのですが、広島市民の反応があまりよくないのが残念です。来年3月までNPT再検討会議に向けて毎月20日に取り組みますので、ご協力よろしくお願いします。



本通商店街入口にて



原爆ドーム前にて



行動終了後のまとめ

2009 ピースアクション in ヒロシマ 開催

日本生協連と広島県生協連主催で、全国の平和の活動と願いを広島に持ち寄る「ピースアクションinヒロシマ」は、「継承と警鐘～ヒロシマのねがいを世界に～」をテーマに、8月4日～6日まで開催し、3日間でのべ2,300人が参加しました。

8月5日 ヒロシマ虹のひろば

虹のひろばには全国の生協の組合員1,300人が参加しました。

「虹のステージの1部」では、主催者挨拶(山下俊史日本生協連会長)に続き、被爆の証言では漫画家の中沢啓治さんから被爆体験、被爆したことによるいじめの体験など戦後の厳しい生活もわかりやすくお話しいただきました。

「みんなのひろば」では、各地の生協や広島の平和団体の出展ブースや各コーナーで交流しました。「2020ビジョンコーナー」では、オリジナルの紙芝居の上演やクイズを行い、署名の訴えをしました。また、「子どもが描く平和の絵・展示コーナー」「ユニセフBIGすごろくコーナー」「平和アニメ上映コーナー」など、どのコーナーも盛況で、子どもたちも楽しみながら平和について考えました。また今年はじめてガザやイラクの子どもの写真を展示しました。

「虹のステージの2部」では秋葉忠利広島市長から「市民の力で問題を解決する時代。共に核兵器廃絶に向け行動しましょう」とご挨拶いただきました。最後のフィナーレは「虹の合唱団」です。平和の思いをこめて全員の合唱で虹のひろばを締めくくりました。

プログラム

【虹のステージ1部】

○オープニング

岩田英憲さんのパンフルート演奏

○主催者挨拶 山下俊史日生協会長

○被爆の証言(中沢啓治さん)

【みんなのひろば】

【虹のステージ2部】

○広島市長ご挨拶(秋葉忠利広島市長)

【フィナーレ】 ○合唱

オープニング【岩田英憲さん】



パンフルートの爽やかな音色に元気も出ます。

被爆の証言【中沢啓治さん】



会場全体がお話に引き込まれました。

秋葉広島市長挨拶



2020年に核廃絶する決意を述べられました。

虹の合唱団



0歳から70代までの参加者が平和の思いを歌いました。

ユニセフすごろく



楽しく学びました。

2020ビジョンコーナー



広島弁の紙芝居が好評でした。

子どもの平和の絵



優秀作品に投票しました。

ガザやイラクの写真



みなさん真剣な表情

YES・キャンペーン



木片で作成します。

各生協のブース



どのブース也大賑わい。



8月4・5・6日 分科会

碑めぐり、被爆の証言、ユニセフ・ワークショップ、サダコと折り鶴の話、NPT再検討会議に向けて世界の情勢を学ぶ分科会など12の多彩な企画で、のべ1,000人が平和について学びあいました。



碑めぐり

多くのみなさんが参加



被爆の証言

熱心に聞き入る参加者



「サダコと折り鶴の話」

サダコさんと同級生の川野さん



**「核兵器廃絶に向けて
私たちにできること」**

2009 市民平和行進

2009市民平和行進は7月25日大竹市から山口県和木町までの行進を皮切りに、7つのルートで企画されました。7月25日(広島西)・26日(因島)は大雨洪水警報が発令されたためやむなく中止しましたが、福山・三原・三次・広島西・広島で、延べ600名が参加し、無事終了しました。三原では「平和の大切さ」「しなくてはならないこと」などを話し合う中で、5年振りに行進が復活しました。また、広島西では新たに行進が取り組まれるなど前進面が多く見られました。8月4日最後の集結のつどいでは小学5年の村田君が1人の被爆者との出会いをもとに感じたことや考えたことを子どもからのメッセージとして読み上げました。「これから僕たちが戦争や核兵器のない平和な世界を作っていきたいと思います。」と締めくくったメッセージに継承の大切さを感じるとともに頼もしさも感じました。県内各地の行進で歌われた「青い空は」を声出し隊のリードで合唱して2009年の市民平和行進及び「集結つどい」を締めくくりました。

【主 催】
2009市民平和行進広島県連絡会

- 広島県原爆被害者団体協議会
- 広島県原爆被害者団体協議会
- 広島県地域女性団体連絡協議会
- 広島県青年連合会
- 広島県宗教者NGO協議会
- 広島県生活協同組合連合会



**7/28
三原
(55人)**



**7/29
福山
(82人)**



**8/1
三次
(138人)**



**8/1
広島市西
(120人)**



**8/4 全体
稲荷橋
西詰**

**平和公園
(205人)**



**慰霊碑に
献花・黙祷**



終結集会

会員生協の平和活動紹介

広島医療生活協同組合

平和まつり開催(7/18)

ー130人が参加し「核兵器廃絶」をテーマに活動交流とシンポジウムー

7月18日(土)、祇園公民館で「2009平和まつり」が開催され、130人が参加しました。

コーラスサークルの歌声に続き、「沖縄戦跡めぐり」(生協ひろしま)、高校生平和ゼミナール、安佐地区九条の会など各地域の平和の取り組みの交流が行われました。

子どもコーナーでビデオ『伸ちゃんの三輪車』を鑑賞した小学生4人が、「原子爆弾や戦争はやめてほしい」と感想を報告し会場から大きな拍手が起きました。

後半の「核兵器廃絶にむけて」をテーマにしたシンポジウムでは、「被爆教師の会」の江種祐司さんが、64年前の自らの被爆体験を、当時の広島地図と原爆投下の2ヵ月後に撮影された広島のパノラマ写真を示しながら詳しく報告。また就職2年目の職員3人が、被爆体験を聞き『ピカに灼かれてPart2』にまとめていく中での被爆体験の継承の大切さを訴えました。

まつりに参加した女性(20代・職員)は、「多くの人が亡くなって、つらい思いをして生きておられる方々が、戦争を知らない人々に伝えていって、次の世代にも伝えていけていいと思いました」との感想を寄せました



生協ひろしま

ピースナイター開催(9/15)

9月15日に行われたピースナイターでは、販売及び当日の要員で協力ありがとうございました。

昨年度は、折りづるナイターとし2,800人のチケットを生協が販売しました。今年度は、4,627枚のチケットを販売することができました。多く組合員や他の生協のみなさん、お取引先様など多くの方に賛同いただいたおかげです。

今回は名称を「折りづるナイター」から「ピースラインメッセージ」として、原爆ドームの高さ25mとマツダスタジアムの内野自由席の上段から2列目の高さを表現するピースラインに取り組みました。野球を楽しみながら、ピースライン作りを通じて平和を考えるきっかけになったと思います。

この取り組みには、ほかに意味があります。ひとつは、復興のシンボルとして市民を励まし続けてきた旧広島市民球場がマツダスタジアムの新広島市民球場へ思いの継承でもありました。もうひとつは、平和に取り組むネットワークを広げることです。この数年前まで、被団協をはじめとした6団体と一緒に取り組む平和行進が生協を代表する他団体と一緒に取り組む平和の行事でしたが、昨年度から行われた折りづるナイターに引き続き、このピースナイターは、主催者が生協ひろしまだけではなく、カープ、広島平和文化センター、中国新聞に広がったことと、2020署名でも一緒に活動している若い高校生との協同の取り組みが広がったということです。

これからも多くの方と協同して、核兵器廃絶を目指す取り組みをすすめると共に、身近な人への優しさや配慮をしていける取り組みをすすめていきたいと思っています。



スタジアムが緑で染まりました。



生協ひろしまの職員のオリジナル。



高校生たちが平和をアピール。



広島県学校生活協同組合

〒732-0052 広島市東区光町二丁目8-32 TEL 082-264-3311

■代表者名 理事長 研本 正明
■組合員数 19,701人
■事業高 11億2,034万円
■出資金 4億4,268万円

■設立登記年月 1948年12月28日
■活動エリア 広島県内の小・中学校、共同調理場、幼稚園、保育所、教育委員会及び教育団体の職域
■役員数 (常勤理事)2人 (非常勤理事)19人 (非常勤監事)4人
■職員数 (正規)8人 (嘱託)2人 (定時)4人

※組合員数、出資金、事業高は2009年3月31日現在。

広島県学校生活協同組合は県内の小・中学校等に勤務する教職員の福利厚生活動として、供給事業に取り組んでいます。昨年10月より教職員共済生協の総合代理店を受託しました。また、生損保会社と提携して独自共済の供給や団体契約による保険金収納代行業務も行っています。

6月26日に開催した第56回通常総代会では、生協法の改正を受け、新たに退職者の総代枠を設けました。退職者総代からは、学校生協活動に対する積極的な意見がたくさん出され、活発な総代会となりました。当生協は昨年設立60周年を迎えました。生協活動を長年にわたり職場で支えて来ていただいた組合員さんの熱い思いを受け止めて、本年度を次の70周年に向けた飛躍の年としたいと思います。今後も「食の安全」「くらしの安心」「平和・環境・人権を守る」取り組みをより一層進めます。



2009年度 通常総代会



広島県高等学校生活協同組合

〒730-0047 広島市中区平野町8-15 TEL 082-244-2311

■代表者名 理事長 守本 秀樹
■組合員数 6,670人
■事業高 631,177千円
■出資金 209,689千円

■設立登記年月 1957年1月
■活動エリア 広島県内の高校、特別支援学校の職域
■役員数 (常勤理事)1人 (非常勤理事)30人 (非常勤監事)5人
■職員数 (正規)4人 (定時)12人

※組合員数、出資金、事業高は2009年3月31日現在。

昨年秋以降の景気動向は「好景気」と言われながらも、その間可処分所得が減っていき、「おかしいな」という生活実感に確信を与えるものでした。

そのことは高校生協の営業努力に大きな影響を及ぼし、「利用割戻し」を行わないという提案を2年連続で総代会に提案しなければならないことになりました。

さまざまな課題を克服し、総代会議案書に掲載している学生協の基本任務「学生協は組合員のくらしと健康を守る」等を追求していかなければならないと思っています。

このような厳しい職場環境のなか、6月の総代会で、やむを得ない理由があり、理事長、専務理事とも代わるようになりました。

しかし、20名の職員さんたちは着実な業務をすすめ、新参で無力な専務を助け、基本任務追及に向けてがんばっています。明るさと元気を失わせないことが私(専務)の仕事だと思っています。(文責 専務理事 高橋幸博)



2009年度 通常総代会



広島大学消費生活協同組合

〒739-0046 東広島市鏡山1丁目4-5 広島大学会館内 TEL 082-424-2525

■代表者名 理事長 田中 秀樹
■組合員数 21,655人
■事業高 3,583,109千円
■出資金 284,191千円

■設立登記年月 1972年2月
■活動エリア 広島大学の職域
■役員数 (常勤理事)4人 (非常勤理事)26人 (非常勤監事)6人
■職員数 (正規)31人 (定時)166人

※組合員数、出資金、事業高は2009年2月28日現在。

2009年度活動方針の主な構成は以下の通りです。

1.組合員の生活に潤いと楽しさを

(1)組織部(OZ)の活動、(2)教職員・院生組織委員会の活動、(3)生協だより編集委員会の活動、(4)健康な食生活を目指す活動、(5)助け合いと安心・安全な生活を目指す活動、(6)暮らしと環境を考える活動

2.組合員の生活から組織・事業の運営を

(1)組合員の声を聴く活動、(2)組合員とともにつくる活動、(3)重点事業

春から始めた重点事業である「パソコン総合サポート(PCSS)」の1年目講座の講義の様子。先輩学生が新入生に大学で必要となるパソコンの活用方法を教えています。前期は「レポート作成」、後期は「発表・プレゼンテーション」を主テーマとして学びます。会場使用等について、大学の協力・バックアップもいただいています。





広島修道大学生協同組合

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1丁目1-1 TEL 082-848-1097

■代表者名	理事長 針持 和郎	■設立登記年月	1972年11月
■組合員数	6,777人	■活動エリア	広島修道大学内
■事業高	812,817千円	■役員数	(常勤理事)1人 (非常勤理事)14人 (非常勤監事)3人
■出資金	66,756円	■職員数	(正規)5人 (定時)24人

※組合員数、出資金、事業高は2009年2月28日現在。

学校の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員・組合員に良い品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場にふさわしい様々な事業を行っています。購買・書籍・旅行サービス。カフェテリアを中心とした生協店舗は、組合員の憩いの場であり、勉学研究を支える場となっています。また、「もしもの時はみんなの力で」をモットーに、学生が安心して生活できるよう、共済事業にも取り組んでいます。



新入生交流会の様子



広島中央保健生活協同組合

〒733-0023 広島市西区都町42-7 TEL 082-292-3179

■代表者名	理事長 吉富 啓一郎	■設立登記年月	1955年9月
■組合員数	35,103人	■活動エリア	広島市内を中心に県内全域
■事業高	4,886,953千円	■役員数	(常勤理事)9人 (非常勤理事)16人 (非常勤監事)4人
■出資金	943,438千円	■職員数	(正規)381人 (定時)290人

※組合員数、出資金、事業高は2009年3月31日現在。

当生協は国民皆保険制度実施以前の1955年、だれもが健康で安心して住めるまちづくりのとりくみのなかで診療所として誕生しました。現在もその精神を引き継ぎ、35,000人の組合員が「地域まると健康づくり」「明るいまちづくり」をすすめています。

〈2009年度方針の概要〉

- 1.徹底した組合員参加で支えあう・助けあう事業と活動の推進
 - ①健康づくり班会で「医療生協の健康観」を実感します。
 - ②健康診断で「手遅れ」と言わせない健康づくりを推進します。
 - ③支部は保健生協の顔!支えあい・助け合いを広めます。
 - ④班・支部と事業所の連携と協力を推進します。
 - ⑤憲法を守り、平和を守る!誰もが安心して暮らせるまちづくりをすすめます。
- 2.協同の輪を広げる「虹の7目標」に挑戦
- 3.第5次長期計画(案)作成の討議を開始
- 4.医療生協全国連合会(仮称)づくりの論議に参加



健康づくり交流会の様子



広島医療生活協同組合

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目19-6 TEL 082-879-8124

■代表者名	尾野 展昭	■設立登記年月	1967年2月
■組合員数	45,890人	■活動エリア	広島市内を中心に県内全域
■事業高	4,772,441千円	■役員数	(常勤理事)10人 (非常勤理事)11人 (非常勤監事)5人
■出資金	1,006,720千円	■職員数	(正規)376人 (定時)155人

※組合員数、出資金、事業高は2009年3月31日現在。

相次ぐ社会保障の後退により多数の「医療・介護難民」が生まれています。一方で、医師不足も社会的問題となっており、地域医療は崩壊の危機に瀕しています。私たち広島医療生協は、「参加と協同、そして連携」という理念、および「健康をつくる、平和をつくる、地域の思いを協同のちからで「かたち」に変える」という使命のもと、

- ①理念と目標を共有し、事業と運動に主体的に参加する組合員・職員に成長します。
- ②すべての分野で管理能力を高め、事業を通じて地域の願いに応えます。
- ③心をひとつにして、事業を守り発展させ、共立病院の新築移転の第一歩を踏み出します。
- ④協同組合の力を発揮し、大きな組合員組織をつくり、地域の連携を強め、明るいまちづくりに貢献します。

という4つの基本方針を掲げ、日夜活動しています。





福山医療生活協同組合

〒720-0082 福山市木之庄町3丁目6-10 TEL 084-973-2280

■代表者名	理事長 服部 融憲	■設立登記年月	1980年1月
■組合員数	11,592人	■活動エリア	県東部一円
■事業高	5億94,721千円	■役員数	(常勤理事)5人 (非常勤理事)9人 (非常勤監事)3人
■出資金	3億52,608千円	■職員数	(常勤)54人 (非常勤)36人 (登録ヘルパー)24人

※組合員数、出資金、事業高は2009年3月末31日現在。

2009年度の総代会の決定は次のとおりです。

2007年度城北診療所の新築移転で大きな赤字を出し、2008年度は、事業運営を一から見直しをしました。その結果、組合員の財産を守るべく黒字に転換することができました。しかし、この情勢の元、一段の引き締めをする必要があります。福山医療生協は来年30周年を迎えます。現在、福山医療生協の存在意義・潜在能力は何なのか論議をしています。職員は医療生協人として資質をどのように高めるかの取り組みをしています。

2009年度は組合員の「いのち」を守る取り組みを強化します。組合員がどのような状況におかれているのかを理解するために訪問・対話運動を重視します。また、組合員が様々なことを気軽に医療生協に紹介できるように紹介カードを作成し、命と暮らしを守ることに全力で取り組みます。



福山マラソンウォーキングに参加



日立造船因島生活協同組合

〒722-2324 広島県尾道市因島田熊町4508-1 TEL 0845-22-2560

■代表者名	代表理事 岡野 龍広	■設立登記年月	1949年11月
■組合員数	12,008人	■活動エリア	尾道市因島・瀬戸田町・愛媛県越智郡上島町(弓削・生名・岩城・佐島)
■事業高	3,064,102千円	■役員数	(常勤理事)6人 (非常勤理事)9人 (非常勤監事)3人
■出資金	347,096千円	■職員数	(正規)38人 (定時)70人

※組合員数、出資金、事業高は2009年3月31日現在。

日立因島生協は、今年11月に60周年を迎えます。店舗事業(食品店舗7店、衣料店舗1店、共同購入(1支所)葬祭事業(仏壇仏具2店、ギフトショップ含む)外食事業(2店)職域事業(4店)で展開しています。

21年度基本方針は、

- 〈1〉経営構築改革をすすめ、経営基盤の安定化に努めます。
 - (1)損益構造の向上 (2)財務構造の強化・確立
 - (3)効率的な労働力編成と人材教育
- 〈2〉事業構築改革をすすめ、組合員の満足度を高めます。
 - (1)店舗事業の構築改革の推進
 - (2)無店舗事業の柱として、仲間づくりを重点課題としての取り組み
 - (3)葬祭利用組合員の満足度アップとメモリアル会員の拡大
- 〈3〉組合員組織の活性化に努めます。
 - (1)組合員組織の再編 (2)組合員活動の推進

以上を取り組みます。



2009年度 通常総代会



竹原生活協同組合

〒729-0026 竹原市中央1丁目9-11 TEL 0846-22-2636

■代表者名	理事長 武田 孝治	■設立登記年月	1964年4月
■組合員数	10,994人	■活動エリア	竹原市・三原市・呉市・東広島市・広島市等9市6町
■事業高	952,381千円	■役員数	(常勤理事)7人 (非常勤理事)7人 (非常勤監事)4人
■出資金	381,052千円	■職員数	(正規)29人 (定時)40人

※組合員数、出資金、事業高は2009年3月31日現在。

1964年4月に、三井金属竹原製煉所(株)の職域生協として設立され、店舗・宅配・燃料・共済の4つを柱に事業を展開しています。

竹原市に2店舗営業し、約20年前より週2回配達無料の宅配を行い、1万人強の地域生協になりました。

2009年5月23日(土)に、第46回通常総代会を開催し、議案すべてが賛成多数で可決決定されました。

景気や雇用環境が悪化しているなか、竹原生協をとりまく環境も、依然厳しい状況が続いていますが、生協の持つ人的、物的経営資源をより効率的に活用し、竹原生協の事業4本柱(宅配・店舗・燃料・共済)を中心に、組合員の生活の安心、安全の期待に応える事業体を目指します。



2009年度 通常総代会



生活協同組合ひろしま

〒739-0495 広島県廿日市市大野原1丁目2-10 TEL 0829-50-0360

- | | |
|-------------------|---|
| ■代表者名 理事長 林 辰也 | ■設立登記年月 1971年5月 |
| ■組合員数 364,116名 | ■活動エリア 県内全域 |
| ■事業高 43,863,419千円 | ■役員数 (常勤理事)5名 (非常勤理事)13名 (常勤監事)1名 (非常勤監事)5名 |
| ■出資金 12,334,092千円 | ■職員数 (正規)654名 (定時)1,623名 (福祉専門職員・ヘルパー)626名 |

※組合員数、出資金、事業高は2009年3月31日現在。

第25回通常総代会を6月11日に開催しました。今年度は、昨年度の新生協施行に伴い初の選任制度による役員改選をおこないました。

昨年度は、2008年1月に発生したCOOP手作りぎょうざからの農薬成分検出や中国最終加工商品の取扱い見合わせ、秋に発生した世界同時不況による景気低迷など商品や事業の面で大変な1年でした。

2009年度は、方針として「安心してらせることをめざして、組合員が求める商品やサービスを提供します」を掲げ、組合員に一層満足していただける事業と活動を展開します。具体的には、バイオディーゼル燃料トラックの導入(5月)、農業生産法人設立の検討開始(6月)、夕食宅配事業の実験開始(8月)、コープ東広島の開店(9月)、呉でのデイサービスの開始(12月)に取り組みます。前年度に引き続き、生協経営も組合員のくらしも厳しいと予測される中で、少しでも組合員のお役にたてる生協になるよう、様々な側面から取り組みをおこないます。



2009年度 通常総代会



グリーンコープ生活協同組合ひろしま

〒731-0103 広島市安佐南区緑井1丁目28-47 TEL 082-831-1503

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| ■代表者名 理事長 林 和子 | ■設立登記年月 1993年6月 |
| ■組合員数 19,961人 | ■活動エリア 県内全域 |
| ■事業高 3,418,962千円 | ■役員数 (常勤理事)3人 (非常勤理事)11人 (非常勤監事)2人 |
| ■出資金 547,284千円 | ■職員数 (職員)68人 (定時職員)93人 |

※組合員数、出資金、事業高は2009年3月31日現在。

第十七期通常総代会も無事終了し、2009年度は「地域に根ざしたグリーンコープを組合員みんなで創ります」を基本方針に、活動・事業を進めています。また、生命を育む食べもの「グリーンコープ商品」をこれからも守り、多くの人々に伝えていくこと、地域福祉の活動を進めることなどを目指し前進していきます。

今年度は、今日のような厳しい社会状況の中、身近な所で何ができるか?から、家計とくらしの応援活動の一つとして、計画的な家計運営を考えていく自主サークル「チャレンジ家計簿クラブ」を立ち上げています。組合員からの希望も多く、現在5つのサークルが活動しています。月1回、仲間を励まし合いながら楽しく持続することを目的に、定期的な学習会開催など生活設計に必要な情報を正確に得ることで家計管理に役立てて、心豊かなくらしにつなげていきます。



サークル「チャレンジ家計簿クラブ」



広島県労働者共済生活協同組合

〒732-8505 広島市東区曙4丁目1-28 TEL 0120-39-6031

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| ■代表者名 理事長 高松 俊二 | ■設立登記年月 1959年1月 |
| ■組合員数 40,747人 | ■活動エリア 県内全域 |
| ■事業高 1,107,751千円 | ■役員数 (常勤理事)1人 (非常勤理事)26人 (非常勤監事)3人 |
| ■出資金 2,637,085千円 | ■職員数 (職員)35人 (定時職員)21人 |

※組合員数、出資金、事業高は2009年5月31日現在。

2009年7月30日(木)にホテルグランヴィア広島にて第33回全労済広島県本部通常総代会が開催されました。代議員146名の参加がありました。大変厳しい事業状況の説明と、各種事業推進活動について報告された後、2008年度総括を踏まえた2009年度の事業目標が提起されました。

2009年度の活動方針は、次のとおり。

1. 組合員の満足度を高める取り組みの強化
2. 協力団体・組合員への的確な保障提案にもとづく複合・新規の事業推進
3. エリア拠点性を核とした新たな事業推進態勢への改革

具体的な取り組みにあたっては、共済が組合員とその家族の「保障のメイン」となる活動を強化して取り組むことが確認されました。また、今総代会をもって小田理事長・高井専務が退任、新たに高松理事長、馬場専務を選出しました。



2009年度 通常総代会



広島県住宅生活協同組合

〒732-0817 広島市南区比治山町2-5 TEL 082-262-4311

■代表者名	理事長 小川 正継	■設立登記年月	1961年9月
■組合員数	6,377人	■活動エリア	県内全域
■事業高	2,388,089千円	■役員数	(常勤理事)2人 (非常勤理事)5人 (非常勤監事)2人
■出資金	62,630千円	■職員数	(職員)3人

※組合員数、出資金、事業高は2009年3月31日現在。

100年に1度と言われる経済不況のなか、広島県住宅生協は2009年度 第49期経営計画を立て、それを達成するために重点取り組み課題を下記のとおり定めました。これらの課題をやりとげ現在の難局を乗り越えていきます。

〔重点取り組み課題〕

- 法令遵守 生協法の趣旨に基づき関係法令を順守徹底するとともに、住宅生協の理念と効率性の両立を着実に推進します。
- 第49期計画の着実な推進 生協のブランド力・信用力を有効活用してグループ企業や他企業との共同事業を更に推進します。

(1)住宅生協グループ事業の強化

- ①グループ企業の強化と共同事業の推進 ②商品力・ブランド力の強化
- ②リフォーム・仲介事業の強化 ④マンション管理業の強化・拡大

(2)経営体質の強化・改善

- ①財務体質の確立と経営基盤の強化 ②業務の効率化と経費削減 ③在庫圧縮及び有利子負債の削減
- ④資金調達の強化 ⑤自己責任・自己決定の協同組合への改革

(3)推進体制の強化

- ①全国住宅生活協同組合連合会や他県住宅生協及び広島県生活協同組合連合会との連携強化
- ②組織体制の整備による責任体制の明確化 ③経営業務管理責任者や人材の育成



生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合(コープCSネット)

〒739-0496 広島県廿日市市大野原一丁目2-10 TEL 0829-50-0633

■代表者名	理事長 三橋 幸男	■設立登記年月	2005年10月
■組合員数	1,533,254人	■会 員 生 協	9生協(鳥取県生協、生協しまね、おかやまコープ、生協ひろしま、コープやまぐち、とくしま生協、コープかがわ、コープえひめ、こうち生協)
■事業高	1,907億円	■役員数	(常勤理事)3人 (非常勤理事)18人 (非常勤監事)3人
■出資金	540億8,600万円	■職員数	(正規職員)98人 (定時職員)6人 (嘱託職員)3人 (派遣職員)31人
■事業連合出資金	9億6,100万円		

※組合員数、供給高、出資金の数値は9生協合計、2009年3月31日現在。

総会で承認された2009年度事業計画の基調は次のとおりです。

- (1)景気の急速な減速の中で、組合員の生活防衛意識が高まり、生協の利用の仕方も変化してきています。2009年度は組合員の暮らしに貢献する商品の提供や企画の提案を最重点におきます。
- (2)揺らいだ食品への信頼回復のために、引き続き「生協そのものの信頼の再形成の年、CO-OP商品の再構築の年」とし、組合員の信頼や安心を最優先に事業を組み立てなければならぬ年と位置づけます。
- (3)会員生協の経営も、2009年度は共済事業の分離措置があり、減損対応を実施する会員生協もあります。コープCSネットと会員生協が協力しながら、事業構造の強化と会員生協にとっての事業連合メリットを明確にしながら、経営構造の改善やコスト削減の具体的な対応を進めなければならない年です。
- (4)「仕入の共同(商品機能)」から「商品事業の共同(システム・物流)」へ向けた「基盤整備」として、2010年稼働の尾道ドライセットセンターやシステム最適化ステージ2.0の安定稼働が重要課題となります。



採択風景



広島県生活協同組合連合会

■代表者名	会長理事 富田 巖	■設立登記年月	1967年9月
■会員数	14生協 940,283人	■会員生協内訳	購買生協(地域・職域)6、医療生協3、大学生協2、労済生協1、住宅生協1、事業連合1
・組合員数	(休止1生協除く)	■役員数	(常勤理事)1人 (非常勤理事)16人 (非常勤監事)3人
■事業高	70,606,968千円	■職員数	(職員)1人 (定時職員)2人
■出資金	19,120,152千円		

※2009年度の方針については、1頁参照。

※組合員数、供給高、出資金は2009年3月31日現在。

NE T W O R K

広島県、市町の消費生活相談員及び担当職員のレベルアップ研修スタート



消費者ネット広島

消費者ネット広島は、今回、広島県の地方消費者行政活性化基金の活用で、県・市・町の相談員と担当部局の職員を対象とするレベルアップ研修を広島県より委託され、9月9日(水)から研修をスタートしました。

相談員の皆さんの学習したいテーマを5テーマ設定し、講義形式による専門知識の習得とグループ討議で実践的な手法の習得を図る研修を2010年2月まで12回実施します。

第1回9/9・第2回9/10の研修は、相談件数も多く、新しい事例が次々と出てきている「インターネット関連をめぐるトラブル」というテーマでECネットワークの原田由里さんを講師に招き、ECネットワークで受け付けている相談事例を中心に取引のポイントをおさえる研修を実施しました。

今回は58名の参加があり、参加された相談員の方から、「講義は、インターネット取引の基礎から最近のトラブル事例、有効な解決方法に至るまで内容が多岐にわたり、視点を消費者相談員に定めてあり、今後の相談業務に十分活かすことのできる、まさに聞き応えのあるものでした」という感想が寄せられました。

(※ECネットワーク⇒オークションやネットショッピング、サービス系(オンラインゲームやポイント制の出会い系等)なども含めたeコマース全般のトラブルに関して、売り手と買い手の間に入って問題解決を手助けしてくれる組織。)

住まいのセミナー2009「雑木林の家」見学会を実施

主催：木の香る住宅工房&広島県生協連

住まいのセミナー2009の第3回は9月26日(土)に「雑木林の家」の見学会を実施しました。はじめに、この家が建てられる過程、そして建築材や工法について、オーナーの思いや意見をうかがいながら、設計監理にあたった保井さん(木の香る住宅工房代表)から説明をしました。

その後、実際に住まいのなかを思い思いに参加者が見学し、建築にあたった橋本建設の河野さんや保井さんに工法について質問したり、オーナー家族に住み心地を尋ねたりと、みなさん、木の住まいの良さを実感され、さらにオーナーの住まいに対する思いに共感されたようでした。

貴重な休日に長時間住まいを開放いただいたオーナーに感謝の1日でした。



これからの セミナーの 予定

- ◎第4回 10月24日(土)「山のセミナー」草刈り・植林体験と佐伯杉の伐採見学
 - ◎第5回 11月28日(土)「改修して住む」さまざまな改修方法について実例とともに紹介
- 《お申し込みは》広島県生協連へ…TEL/082-532-1300 FAX/082-232-8100

「消費者のつどい2009」

講演

「悪質商法VS 消費者力」
～自立した消費者に
なるために～

講師/紀藤 正樹 弁護士



広島会場

日時 11月17日(火) 13:30～15:30

会場 鯉城会館 5F サファイヤ

福山会場

日時 11月18日(水) 13:30～15:30

会場 まなびの館 ローズコム

主催:広島県・広島県消費者団体連絡協議会

「協同集会in広島 2009」

協同労働で希望ある地域と生活を
～人と人のつながりで、元気な地域をつくろう!～

基調講演

「経済危機とくらしの崩壊、協同労働への期待」
講師/神野直彦さん(関西学院大学教授・東大名誉教授)

基調講演

田嶋康利さん(協同総合研究所専務理事)

パネルディスカッション

「協同の再生と地域づくり」

パネリスト/野津 久美子さん(生協しまね副理事長)
後 由美子さん(世羅高原6次産業コーディネーター)
中野 賢太さん(NPO法人 おおぞら)
谷 真寿美さん(ワークスまる・さんかく・しかく理事長)

日時 11月29日(日) 13:00～17:00

会場 広島県民文化センター多目的ホール

資料代 500円

主催:「協同集会in広島2009」実行委員会